

ルビーはコランダム(鋼玉)の宝石名である。不純物としてクロムが含まれ濃い赤色になったもの。

ルビーは世界で初めて人工宝石になった鉱物としても有名だ。ルビーの価値は色の濃さにあり、透明感があり濃淡のバランスが優れているほど価値が高まる

スピネルはルビーにとっても似ているが、ルビーが六角柱状になるのに対し、スピネルの決勝は八面体になる。

別名、尖晶石。純粋な結晶は無色透明だが、他の成分によって色を帯びる。

ターコイズは青色から緑色の色を持つ不透明な鉱物である。

オパールの虹色に見える部分は、物質内部の構造によって光が分泌し、表面が虹色に見える、遊色効果によるものである。

ヨーロッパや南米の古代遺跡から発掘されてきたほど古くから愛用されてきた。

ダイヤモンドはギリシア語のアダマス（無敵）に由来する最も硬い物質。通常、5億年以上前的大陸地殻からマグマとともに運ばれてくる。ダイヤモンドは不純物を含むと色を帯びる。窒素で黄色、ホウ素で淡青色、窒素の集合状態や原子欠陥の組み合わせピンク色など様々な色が現れる。

透明や白色の肉眼で見える自形結晶を水晶と呼ぶ。装飾用として人気なのが色付き水晶である。

色付き水晶は不純物を含むことで発色している。

**エメラルド**は、**ベリル**（緑柱石）の一種で、強い緑を帯びた**宝石**である。

天然物は内部に特有の傷が多くあるが、当然ながら傷が少ないものが希少とされる。叡智を象徴する石として知られている。



